デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド

Fund Information
販売用資料

運用開始後のポートフォリオのご紹介

2020年8月17日
日興アセットマネジメント株式会社

ITの浸透による生活の変革を意味する概念として提唱されたDX（デジタル・トランスフォーメーション）は私たちの社会に拡がっています。そのなかでも、非接触ニーズのもとで飛躍的な成長が期待される企業に投資するファンドとして「デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド＜愛称：ゼロ・コンタクト＞」は、2020年7月31日に設定し、運用を開始しました。

本資料では、当ファンドの運用開始後のポートフォリオや組入銘柄などについて、当ファンドのマザーファンドの運用に助言を行なう、アーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー（ARK）の見解をもとに、ご紹介します。

次ページ以降、着色■した5銘柄についてご紹介します。

組入上位10銘柄

（銘柄数：68銘柄、2020年8月7日現在）

順	銘柄名称		国・地域	業種	投資カテゴリー	組入比率
1	SEA LTD-ADR	シー	シンガポール	メディア・エンターテインメント	オンラインサービス	5.7%
2	MEITUAN DIANPING-C-B	美団点評	中国	小売	遠隔提供サービス	5.5%
3	ROKU INC	ロク	米国	メディア・エンターテインメント	ストリーミングメディア	4.6%
4	SLACK TECHNOLOGIES-A	スラック	米国	ソフトウェア・サービス	リモートワーク	4.3%
5	FACEBOOK INC-CLASS A	フェイスブック	米国	メディア・エンターテインメント	オンラインサービス	4.0%
6	TENCENT HOLDINGS LTD	テンセント	中国	メディア・エンターテインメント	オンラインサービス	4.0%
7	NETFLIX INC	ネットフリックス	米国	メディア・エンターテインメント	ストリーミングメディア	3.5%
8	TWILIO INC - A	トゥイリオ	米国	ソフトウェア・サービス	リモートワーク	3.2%
9	SPOTIFY TECHNOLOGY S	スポティファイ	スウェーデン	メディア・エンターテインメント	ストリーミングメディア	2.6%
10	LIVEPERSON INC	ライブパーソン	米国	ソフトウェア・サービス	リモートワーク	2.4%

●比率は、マザーファンドの組入株式時価評価額比率です。　●投資カテゴリーはARKが考える分類です。
●「組入上位10銘柄」は、個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。
●銘柄名は信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが和訳しており、実際と異なる場合があります。
●上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

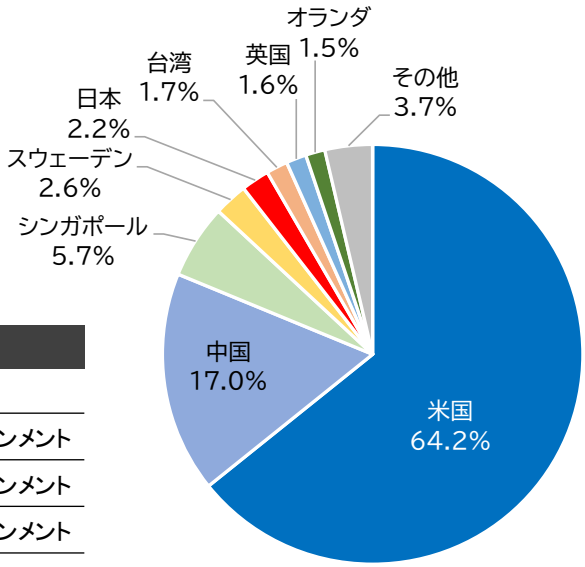
nikko am 日興アセットマネジメント

当資料は、投資者の皆様に「デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド＜愛称：ゼロ・コンタクト＞」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

運用開始後のポートフォリオのご紹介

（2020年8月7日現在）

国・地域別比率



【組入上位国の銘柄】

※以下では、米国を除く組入上位5ヵ国について、その組入上位2銘柄（ない場合は1銘柄）を掲載しています。

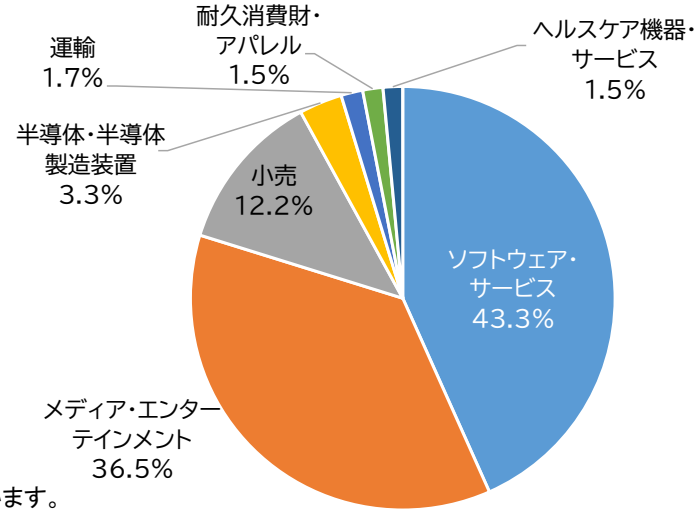
※なお、米国については前ページをご覧ください。

国・地域名	銘柄	業種
中国	美団点評	小売
〃	テンセント	メディア・エンターテインメント
シンガポール	シー	メディア・エンターテインメント
スウェーデン	スポティファイ	メディア・エンターテインメント
日本	任天堂	メディア・エンターテインメント
〃	Zホールディングス	メディア・エンターテインメント
台湾	台湾セミコンダクター	半導体・半導体製造装置

●個別銘柄の取引を推奨するものでも、将来の組入れを保証するものでもありません。

●銘柄名は信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが和訳しており、実際と異なる場合があります。

業種別比率

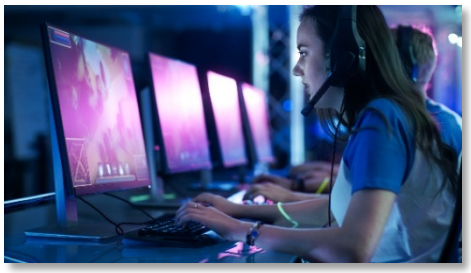


- 業種はGICS（世界産業分類基準）を用いて分類しています。
- 各種比率はマザーファンドの組入株式時価評価額比率です。
  なお、端数処理の関係で合計が100%とならないことがあります。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

- 当ページは、当ファンドのポートフォリオの現状をお伝えするために、2020年8月7日現在のマザーファンドの情報をもとに作成しています。今後の開示資料において、開示内容や集計方法などが見直される場合があります。

組入銘柄のご紹介

ここでは、当ファンドの組入銘柄の一部について、事業内容や注目点についてご紹介します。



※写真はイメージです

シー　（シンガポール）

ゲーム、eコマースなどのアジア最大級の革新企業

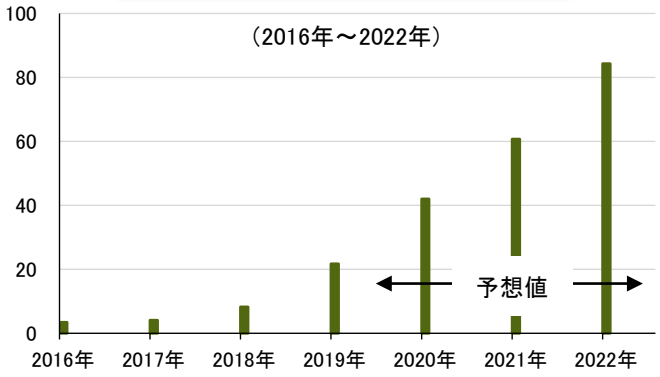
【事業内容】

- 大手企業からゲームのライセンスを取得し、シンガポールで「Garena（ガレナ）」としてゲームビジネスをスタート、現在はオンラインゲームに加え、eコマース、決済事業など急成長分野で事業を展開しています。
- 同社のゲームプラットフォームは参加者同士のチャットやグループ構成などオンラインならではの機能を持ち、ゲーム自体の利用料ではなく、ゲーム内でのアイテム（武器や装飾品など）販売で収益を得ています。

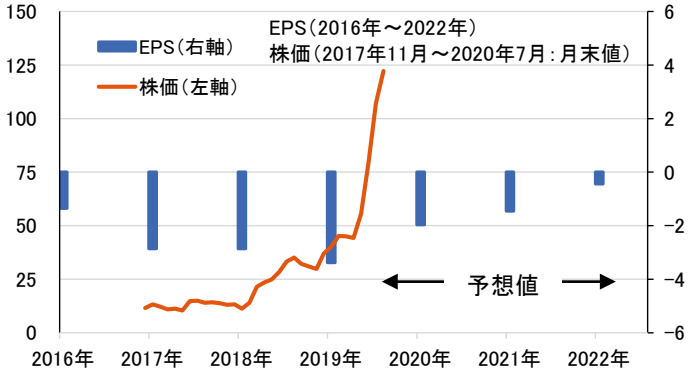
【ARKの見方】

- 同社のゲームプラットフォーム「Garena」は、3,300万人以上の有料ユーザーを抱えており、ARKでは同社のゲーム部門は、今後5年間で年平均約40%の成長が期待できると考えています。

売上高の推移（単位：億米ドル）



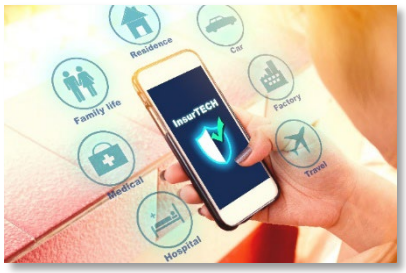
株価とEPSの推移（単位：米ドル）



- 当ページは、2020年8月7日時点の組入上位銘柄について、ARKからのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。なお、当ファンドの運用は2020年7月31日から開始されており、上記グラフの期間がご紹介銘柄の保有期間と同一であることを示すものではありません。
- 売上高およびEPS（1株当たり純利益）は決算期ベース、また、2020年12月以降の値は2020年8月時点の市場予想値です。
- 当ページの銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

組入銘柄のご紹介

ここでは、当ファンドの組入銘柄の一部について、事業内容や注目点についてご紹介します。



※写真はイメージです

美団点評（中国）
（メイトゥアン・ディエンピン）
中国最大級のO2O（オンライン・トゥ・オフライン）プラットフォームを運営

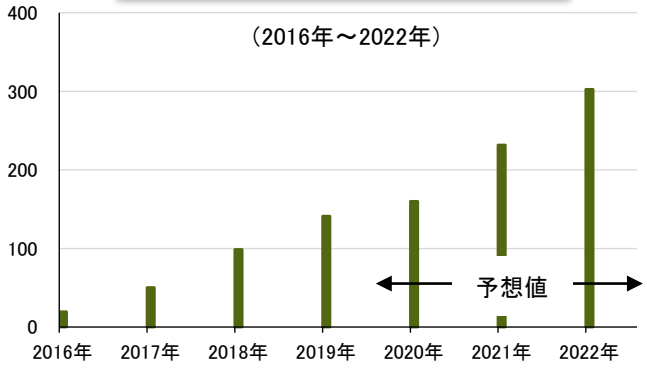
【事業内容】

- 2015年にネットフードデリバリーの「美団」と口コミサイトの「大衆点評」が合併。インターネット（オンライン）上の消費者を実店舗（オフライン）に誘導する独自のプラットフォームを構築。圧倒的なユーザー基盤を持ち、主力のフードデリバリー事業は国内最大シェアを誇っています。
- 同社はプラットフォーム上で、衣食住に限らず、旅行、娯楽、医療など幅広い分野での需要と供給をマッチングさせることをめざしています。

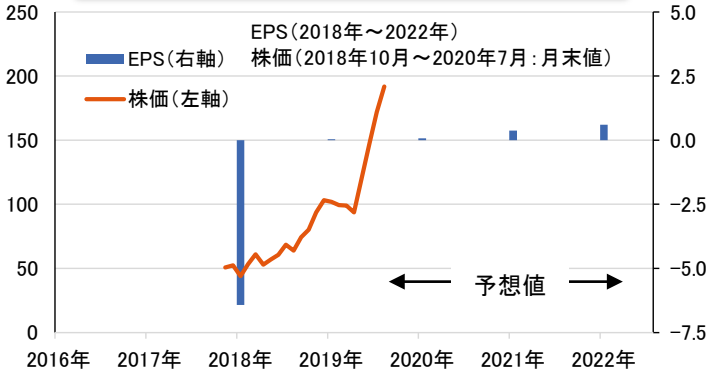
【ARKの見方】

- 中国の食品市場は、オフラインからオンライン、つまり店頭購入からネットデリバリーへと移行しています。この変化は、供給事業者を集約するプラットフォームを運営する同社に大きな収益機会をもたらすとARKは考えています。
- 同社は、手数料による収益獲得のみならず、金融サービスのような収益性の高い市場にもサービスを拡大できる可能性があります。

売上高の推移（単位：億米ドル）



株価（香港ドル）とEPS（米ドル）の推移



- 当ページは、2020年8月7日時点の組入上位銘柄について、ARKからのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。なお、当ファンドの運用は2020年7月31日から開始されており、上記グラフの期間がご紹介銘柄の保有期間と同一であることを示すものではありません。
- 売上高およびEPS（1株当たり純利益）は決算期ベース、また、2020年12月以降の値は2020年8月時点の市場予想値です。
- 当ページの銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

組入銘柄のご紹介

ここでは、当ファンドの組入銘柄の一部について、事業内容や注目点についてご紹介します。

※写真はイメージです

ロク （米国）

ビデオストリーミング市場の主要プレーヤー

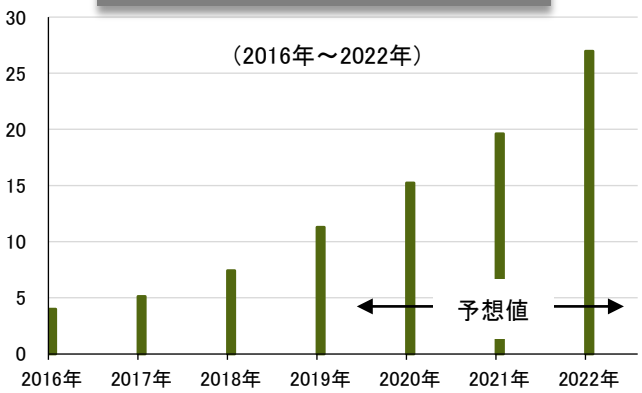
【事業内容】

- 独自の家庭用ビデオストリーミング端末の販売やテレビのプラットフォームとなるオペレーティングシステム（OS）を提供する事業を手掛けています。
- ビデオストリーミング用の機器の設置数が最大級である同社は、テレビ広告市場でケーブルテレビ事業者からシェアを奪う立場にあります。

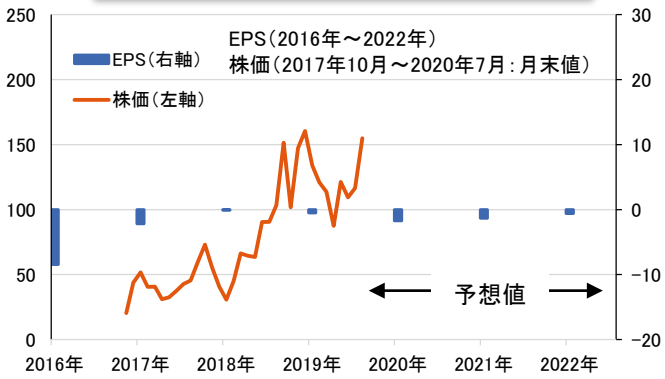
【ARKの見方】

- 米国での新型コロナウイルス拡大に伴なう外出制限を追い風に、同社のアクティブ・アカウント（稼働会員数）は4,000万人に迫っています。テレビ視聴のスタイルが、ケーブルテレビからストリーミングへシフトしている流れを受け、大きな成長が見込まれます。
- ARKでは、今後もビデオストリーミングへの移行が進むと考えており、すでに多くのユーザーを抱える同社は、広告収入による業績拡大を見込めると考えています。

売上高の推移（単位：億米ドル）



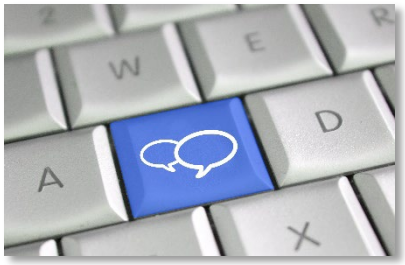
株価とEPSの推移（単位：米ドル）



- 当ページは、2020年8月7日時点の組入上位銘柄について、ARKからのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。なお、当ファンドの運用は2020年7月31日から開始されており、上記グラフの期間がご紹介銘柄の保有期間と同一であることを示すものではありません。
- 売上高およびEPS（1株当たり純利益）は決算期ベース、また、2020年12月以降の値は2020年8月時点の市場予想値です。
- 当ページの銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

組入銘柄のご紹介

ここでは、当ファンドの組入銘柄の一部について、事業内容や注目点についてご紹介します。



※写真はイメージです

スラック （米国）

メッセージングなどの双方向のコミュニケーション・サービス提供企業

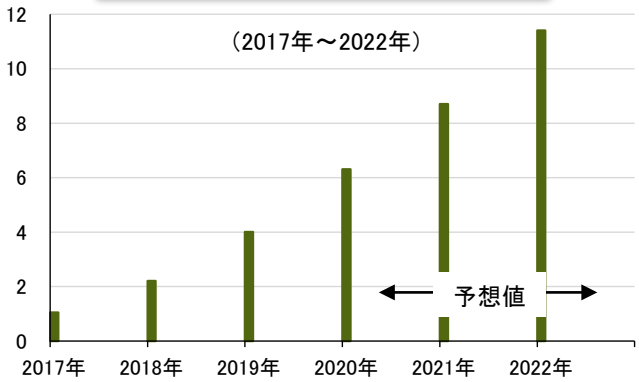
【事業内容】

- ビジネス向けコラボレーションツールの提供企業。
- パソコンおよびスマートフォンなどのアプリとして、多機能なチャットツール、メールのやり取りやファイル共有に優れたシステム、また、グループチャット機能（カレンダー、予定表、タスク管理の共有など）を提供しています。

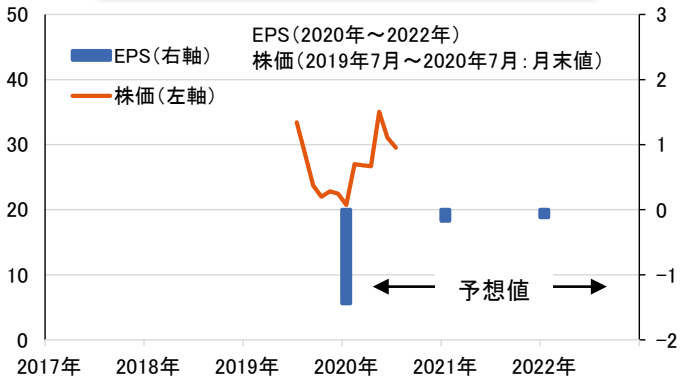
【ARKの見方】

- ARKは同社について、ビジネスにおけるコミュニケーションツールの分野でトップクラスの企業と考えています。企業間のコラボレーションツールの提供を開始したことで、同社の顧客が新たな顧客を呼び込むことが期待されます。
- 米国には1億人の知識労働者がおり、生産性向上ソフトウェアが急速に導入されていることから、同社の収益はまだ小さいものの、保有する顧客情報に基づき獲得が見込まれる市場規模は極めて大きいと考えています。

売上高の推移（単位：億米ドル）



株価とEPSの推移（単位：米ドル）



- 当ページは、2020年8月7日時点の組入上位銘柄について、ARKからのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。なお、当ファンドの運用は2020年7月31日から開始されており、上記グラフの期間がご紹介銘柄の保有期間と同一であることを示すものではありません。
- 売上高およびEPS（1株当たり純利益）は決算期ベース、また、2021年1月以降の値は2020年8月時点の市場予想値です。
- 当ページの銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

組入銘柄のご紹介

ここでは、当ファンドの組入銘柄の一部について、事業内容や注目点についてご紹介します。

スポティファイ （スウェーデン）

世界で人気のあるオーディオ・ストリーミングサービス企業の一角

※写真はイメージです

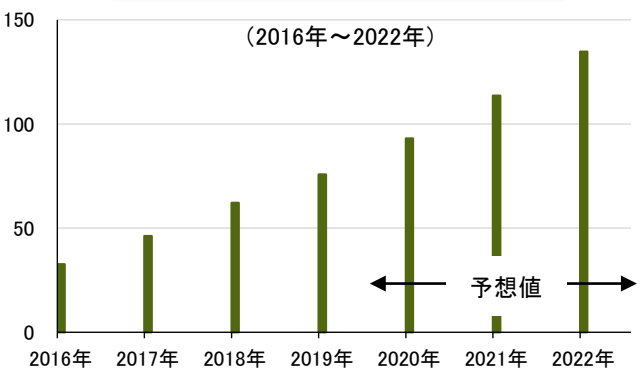
【事業内容】

- 多くの曲を無料で提供するだけでなく、利用者に合った新しい音楽との出会いの場を提供しています。また、アーティストに対しては、利用者分析ツール、新作プロモーションサービスなどを提供しています。
- 加えて、独自の配信コンテンツなどによる囲い込みを図っています。

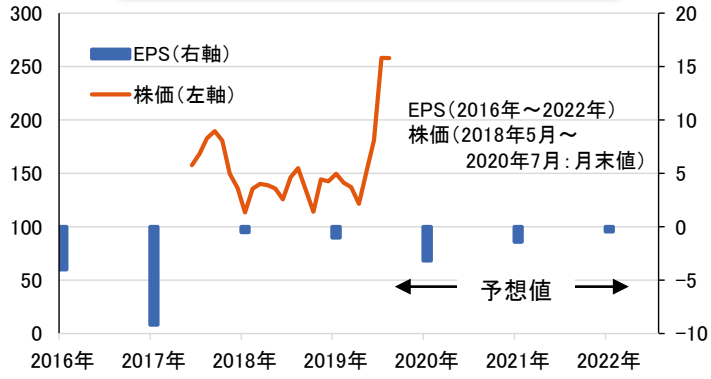
【ARKの見方】

- ARKでは、同社の音楽ストリーミングサービスは世界で最も人気のあるサービスの一つであると考えています。同社サービスのユーザー数は2億7,100万人、そのうち1億2,400万人が有料会員となっています。
- 同社のプラットフォームは、直感的な操作性や使い勝手の良さ、プレイリストの数と種類、機械学習を活用した優れた推奨システムに強みを持ち、他社をリードしています。2024年には、同社の有料ユーザー数は2倍以上に達すると、ARKは考えています。

売上高の推移（単位：億米ドル）



株価とEPSの推移（単位：米ドル）



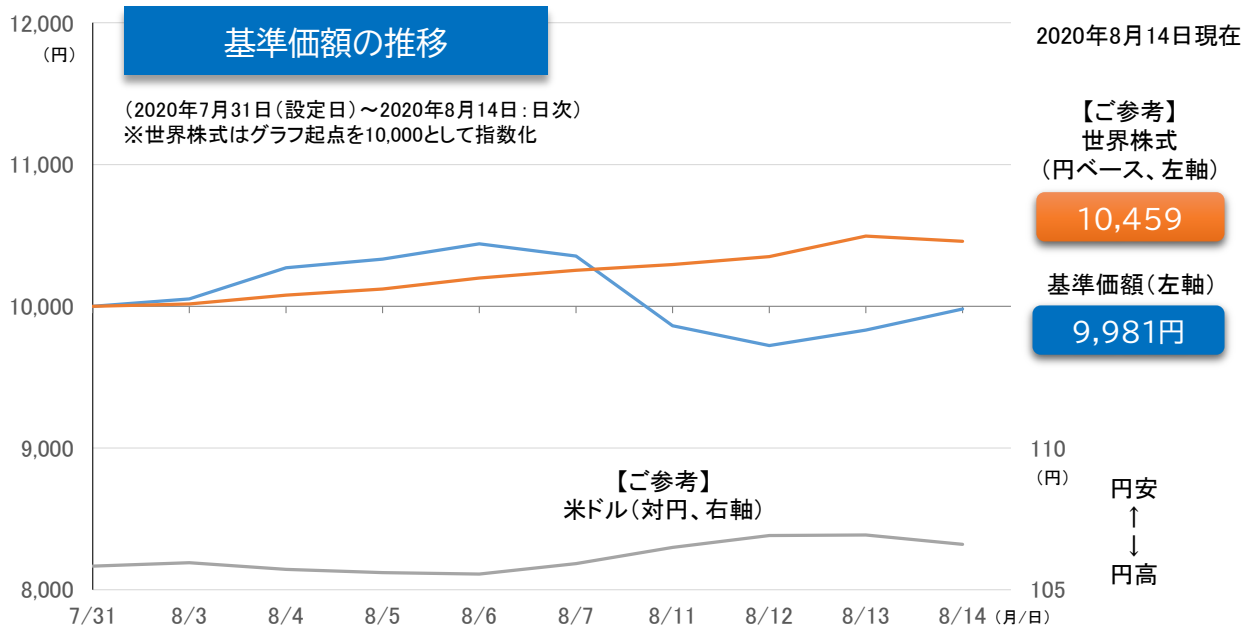
- 当ページは、2020年8月7日時点の組入上位銘柄について、ARKからのコメントや各社発表情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。なお、当ファンドの運用は2020年7月31日から開始されており、上記グラフの期間がご紹介銘柄の保有期間と同一であることを示すものではありません。
- 売上高およびEPS（1株当たり純利益）は決算期ベース、また、2020年12月以降の値は2020年8月時点の市場予想値です。
- 当ページの銘柄について、売買を推奨するものでも、将来の価格の上昇または下落を示唆するものでもありません。また、当ファンドにおける将来の銘柄の組入れまたは売却を示唆・保証するものでもありません。
- 上記は過去のものおよび予想であり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

基準価額の推移

当ファンドの設定以降の基準価額の推移は以下の通りです。

高い成長が期待される非接触型ビジネスに焦点を当て、中長期における投資成果をめざす当ファンドは、現状では市場全体に比べ、ソフトウェア・サービスおよびメディア・エンターテインメントの比率が高くなっており、業種や銘柄選択の効果などにより、市場全体に比べて大きな値動きとなりました。

なお、8月7日以降、株式市場でハイテク株が軟調な推移となった局面では、当ファンドの値動きも、やや軟調な推移となりました。



- 基準価額は信託報酬等（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の1万口当たりの値です。
  世界株式はMSCIワールド指数（米ドルベース、トータルリターン）の値です。世界株式は、当ファンドの基準価額の算出方法に合わせ、当ファンドの前営業日の世界株式の値に、当日の為替を適用して円換算した値を掲載しています。なお、上記指数は当ファンドのベンチマークではありません。
- 信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

純資産総額
1,261億円

nikko am
日興アセットマネジメント

当資料は、投資者の皆様に「デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド＜愛称：ゼロ・コンタクト＞」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動や運用成果などを保証するものではありません。

世界的に動揺が続く中、ARKがお伝えしたいこと

当ファンドのマザーファンドの運用に助言を行なう、
ARKの見方をお伝えします

Catherine D. Wood
（創業者、CEO / CIO）

市場が荒れる中でもイノベーションは普及し続ける

市場環境が大きく変動するなか、当ファンドは2020年7月31日に運用を開始しました。

改めて皆様に、「激動の時代にこそイノベーションが活気づく」という私の考えをお伝えしたいと思います。私は40年以上にわたる金融機関での業務の中で、景気後退を含む10以上の危機を経験しましたが、その都度、急速な人々の行動変化を見てきました。

こうした行動変化、例えばリーマン・ショックを含む世界金融危機時に起きた、企業におけるソフトウェアの利用形態の変化、即ち、製品購入から従量制サービスへの転換は、事業のメインプレイヤーを大きく変えました。イノベーションは激動の時代にこそ普及するのです。

皆様も経験された、新型コロナウイルス感染拡大を契機として急激に起きたデジタル化の進展による便利な社会の出現、中でもリモートワークやストリーミングサービス、キャッシュレスなどに代表される「非接触型サービス」は、一時的な代替手段ではなく、これまでの行動スタイルを置き換えるイノベーションであり、人々がこれからもサービスを幅広く受け入れることで、大きく成長を続けるとARKは考えています。

中長期の目線でイノベーションとお付き合い頂ければ幸いです

新たなイノベーションの普及による企業や消費者の行動スタイルの変化は、関連企業に大きな成長機会をもたらすと考えています。ARKはイノベーションへの投資において、足元の状況ではなく数年先の姿を見ており、コロナ・ショックにより、イノベーションの普及は加速しましたが、依然として道半ばであると考えています。

これからも、短期的な値動きに一喜一憂せず、少し先を見据えた中長期の投資対象として、イノベーションをとらえていただければ幸いです。

- 当ページは、ARKからのコメントや各種公開情報など信頼できると判断した情報をもとに日興アセットマネジメントが作成。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。また記載した見解は将来変更となる場合があります。

ファンドの特色

1 主に、世界の上場株式の中から、ゼロ・コンタクト・ビジネスを行なう企業の株式などに投資を行ないます。

- 今後の成長が期待される、ゼロ・コンタクト・ビジネス（非接触型ビジネス）関連企業の株式（預託証券を含みます。）を中心に投資を行なうことにより、中長期的な信託財産の成長をめざします。
- 外貨建資産への投資にあたっては、原則として、為替ヘッジは行ないません。

2 個別銘柄の選定において、アーク社の調査力を活用します。

- イノベーションにフォーカスした調査に強みを持つ、米国のアーク・インベストメント・マネジメント・エルエルシー（アーク社）からの助言をもとに、日興アセットマネジメント アメリカズ・インクがポートフォリオを構築します。

3 年1回、決算を行ないます。

- 毎年6月7日（休業日の場合は翌営業日）を決算日とします。

※ 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配金額を変更する場合や分配を行なわない場合もあります。

●市況動向および資金動向などにより、上記のような運用が行なえない場合があります。

お申込みに際しての留意事項

●リスク情報

投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様に帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

●その他の留意事項

- 当資料は、投資者の皆様に「デジタル・トランスフォーメーション株式ファンド（愛称：ゼロ・コンタクト）」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／株式
購入単位	＜分配金再投資コース＞ （新規購入時）10万円以上1円単位 （追加購入時）1万円以上1円単位 ＜分配金受取りコース＞ （新規購入時）10万口以上1万口単位 （追加購入時）1万口以上1万口単位 ※別に定める場合はこの限りではありません。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2030年6月7日まで（2020年7月31日設定）
決算日	毎年6月7日（休業日の場合は翌営業日）
購入・換金申込不可日	販売会社の営業日であっても、購入・換金の申込日がニューヨーク証券取引所の休業日またはニューヨークの銀行休業日に該当する場合は、購入・換金の申込みの受付は行ないません。詳しくは、SMBC日興証券にお問い合わせください。
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

委託会社、その他関係法人

委託会社	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第368号 加入協会：一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会 〔ホームページ〕　www.nikkoam.com/ 〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）
投資顧問会社	日興アセットマネジメント アメリカズ・インク
受託会社	三井住友信託銀行株式会社
販売会社	SMBC日興証券株式会社 金融商品取引業者関東財務局長（金商）第2251号 加入協会：日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、 一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料	購入価額に、購入口数、購入時手数料率を乗じて得た額です。 購入時手数料率は申込代金／金額に応じて下記のように変わります。 分配金受取りコース：申込代金に応じます。 （申込代金は購入価額に購入口数を乗じて得た額です。） 分配金再投資コース：申込金額に応じます。 （申込金額は申込代金に購入時手数料（税込）を加えて得た額です。） 1億円未満・・・・・・・・・・・・・3.3%（税抜3.0%） 1億円以上5億円未満・・・・1.65%（税抜1.5%） 5億円以上10億円未満・・・0.825%（税抜0.75%） 10億円以上・・・・・・・・・・・・0.55%（税抜0.5%） ※別に定める場合はこの限りではありません。
換金手数料	ありません。
信託財産留保額	ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞

運用管理費用 （信託報酬）	ファンドの日々の純資産総額に対し年率1.7985%（税抜1.635%）
その他の費用・手数料	目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用（業務委託する場合の委託費用を含みます。）、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。 組入有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、信託財産から支払われます。 ※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことはできません。 また、有価証券の貸付は現在行なっておりませんので、それに関連する報酬はかかりません。

※投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

nikko am

Nikko Asset Management